



マツダ株式会社

株主通信

第150期 上半期

平成27年4月1日 ~ 平成27年9月30日



zoom-zoom

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。
マツダグループの第150期 上半期の株主通信をお届けするにあたり、
ご挨拶申し上げます。

2015年12月

代表取締役社長兼CEO（最高経営責任者）

小飼 雅道



業績の概況

当上半期のグローバル販売台数は、「マツダ アテンザ(海外名:Mazda6)」、「マツダ CX-5」の商品改良モデルが好調な販売を継続していることに加え、各市場で販売が本格化した新型「マツダ デミオ(海外名:Mazda2)」および新型「マツダ CX-3」や新型「マツダ ロードスター(海外名:MX-5)」など新型車の導入効果もあり、前年同期比14.2%増の76万4千台と、上半期として過去最高の販売実績となりました。

連結売上高は1兆7,005億円(前年同期比2,467億円増、17.0%増)、営業利益は1,259億円(同219億円増、21.1%増)、四半期純利益は883億円(同50億円減、5.3%減)となりました。SKYACTIV搭載車のグローバルでの販売拡大やモノ造り革新による継続的なコスト改善が財務実績に貢献しました。

通期の見通しにつきましては、販売台数を151万5千台(期初計画比2万5千台増)、営業利益を2,300億円(同200億円増)に修正しました。中間配当につきましては、期初計画通り、1株当たり15円です。期末配当は1株当たり15円を予定しており、中間配当とあわせて年間配当金は30円の予定です。

「構造改革」主要施策の進捗状況

商品面では、「CX-3」「ロードスター」に加え、「アテンザ」、「CX-5」の商品改良モデルの導入効果により、実売価格の改善や販売奨励金の抑制を図るなど、正価販売を継続しています。11月には、ロサンゼルスオートショーで新型「マツダ CX-9」を公開しました。新型モデルの拡充とともに、SKYACTIV技術およびデザインの進化も着実に進めており、今後も常に最新の技術とデザインをお客様にお届けする戦略を強化していきます。

生産体制では、タイの車両生産工場で新型「CX-3」の生産を開始し、同じくタイの新パワートレイン工場でエンジンの生産を開始しました。

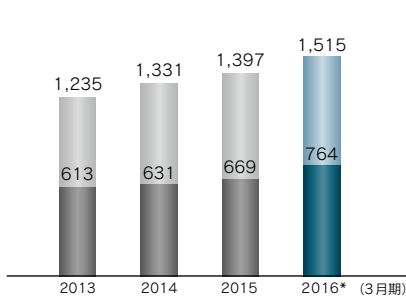
持続的成長に向けた投資は維持しながら、自己資本の充実を図るとともに、キャッシュ・フロー創出力も向上するなど、財務基盤の強化は計画通り進捗しています。

引き続き、マツダらしい魅力ある商品とサービスの提供を通じ、経営基盤の強化とブランド価値向上に向けて取り組んでまいります。株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

グローバル販売台数

(千台) ■通期 ■上半期 ■通期見通し

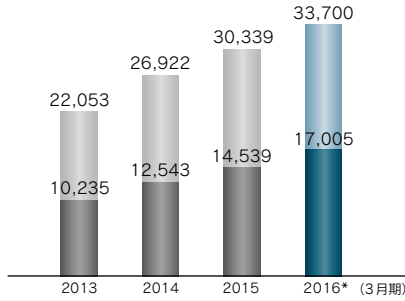


2016年3月期上半期

76万4千台
前年同期比 14.2%増

売上高

(億円) ■通期 ■上半期 ■通期見通し

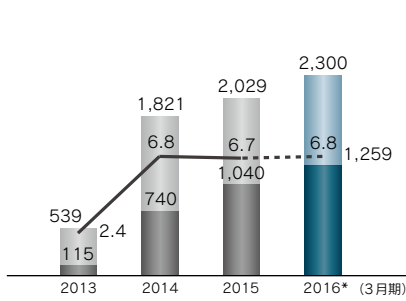


2016年3月期上半期

1兆7,005億円
前年同期比 17.0%増

営業利益／売上高営業利益率

(億円／%) ■通期 ■上半期 ■通期見通し
— 売上高営業利益率(通期)

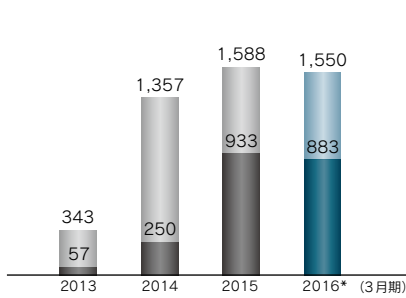


2016年3月期上半期

1,259億円
前年同期比 21.1%増

当期純利益(親会社株主に帰属する当期純利益)

(億円) ■通期 ■上半期 ■通期見通し

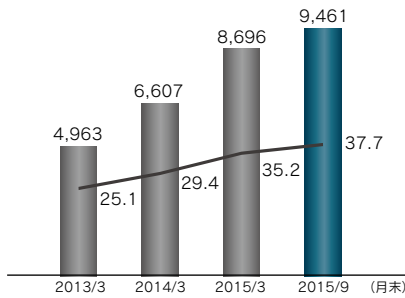


2016年3月期上半期

883億円
前年同期比 5.3%減

自己資本／自己資本比率

(億円／%) ■自己資本 — 自己資本比率

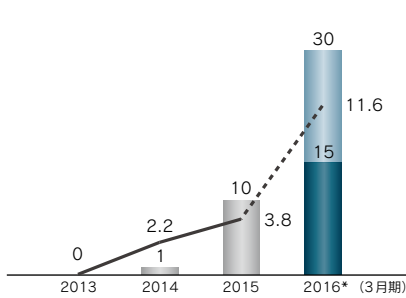


2015年9月末

自己資本比率 37.7%
2015年3月末比 2.5pt上昇

一株当たり年間配当金／配当性向

(円／%) ■通期 ■上半期 ■通期見通し
— 配当性向(通期)



2016年3月期(予想)

配当性向 11.6%
2015年3月末比 7.8pt増

* 2016年3月期通期は見通しです。業績見通しには、リスクや不確定要素が含まれており、実際の業績とは大きく異なる結果となる場合があります。

新型「マツダ ロードスター」を発売

—— コンセプトは、「人生を楽しもう —Joy of the Moment, Joy of Life—」 ——

ALL-NEW
Mazda ROADSTER



新型「ロードスター」は、マツダブランドの提供価値である「走る歓び」を最新の技術で具現化した、「SKYACTIV 技術」とデザインテーマ「魂動（こどう）」を採用した新世代商品の第6弾となるモデルです。

Mazda RX-VISION



「第44回東京モーターショー」において、マツダの「飽くなき挑戦」を象徴するロータリーエンジン(RE)を搭載したコンセプトモデル「Mazda RX-VISION」を、世界初公開しました。「RX-VISION」は、次世代REの「SKYACTIV-R」を搭載した、マツダがいつか実現したい夢を表現したモデルです。

KOERU 越



東京モーターショーで日本初公開となった「マツダ越KOERU」は、スポーティで洗練されたスタイリングおよび走りをもつクロスオーバーコンセプトモデルで、「既存の概念・枠組みを越えるクルマにしたい」という思いが込められています。

TOPICS

クルマ・技術 2015. 7. 8

「CX-5」「アテンザ」に採用の新世代ヘッドランプ技術「アダプティブ・LED・ヘッドライト」で第9回キッズデザイン賞を受賞

グレアフリー（防眩）ハイビーム、ワイド配光ロービームにより、夜間、道路を横断中や路肩にいる子どもを視認しやすくするなど、「子ども視点で開発するMAZDA TECHNOLOGY FOR KIDS」の考え方に基づいた技術が評価されました。



企業情報 2015. 9. 4

マツダとソラース、ウラジオストクの合併会社におけるエンジン工場設立に向けた覚書を締結

マツダとOJSCソラース (Sollers) 社は、両社の合併会社「MAZDA SOLLERS Manufacturing Rus (マツダソラースマヌファクトウリング ルース)」のエンジン工場設立に向けた検討を開始することで、ロシア政府と合意しました。

クルマ・技術 2015. 9. 17

ドイツにおいて3つのデザイン賞を受賞



デザイン賞授与式

マツダのグローバルデザイン部門、「CX-3」、マツダ独自デザインの自転車「Bike by KODO concept (バイク・バイ・コドー・コンセプト)」がドイツの自動車デザイン賞「Automotive Brand Contest (オートモティブ・ブランド・コンテスト)」*をそれぞれ受賞しました。

* 自動車に関連する優れた製品やコミュニケーションを対象にした、ドイツの権威あるデザイン賞

クルマ・技術 2015. 10. 5

タイの車両生産拠点AAT*で新型「CX-3」の生産を開始

* オートアライアンス(タイランド) Co., Ltd.

クルマ・技術 2015. 10. 23

「CX-3」「CX-5」がJNCAP*¹ 予防安全性能アセスメントにおいて最高ランクの「ASV*²」を獲得

2014年度には「アテンザ」、「アクセラ」、「デミオ」の3車種が「ASV+」を獲得しており、評価対象のすべての車種で最高の評価を得ています。

*1. 国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構 (NASVA) が、安全な自動車の普及を促進する目的で、平成7年度より公表している自動車の安全性能評価

*2. Advanced Safety Vehicle

企業情報 2015. 10. 26

タイの新パワートレイン工場でエンジンの量産開始記念式典を実施



MPMT 外観

「Mazda Powertrain Manufacturing (Thailand) Co., Ltd.」(MPMT) の新エンジン工場は、日本、中国、メキシコに続いて、4拠点目となるSKYACTIV エンジンの生産拠点です。

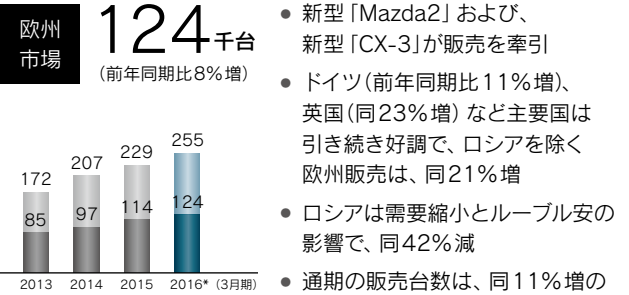
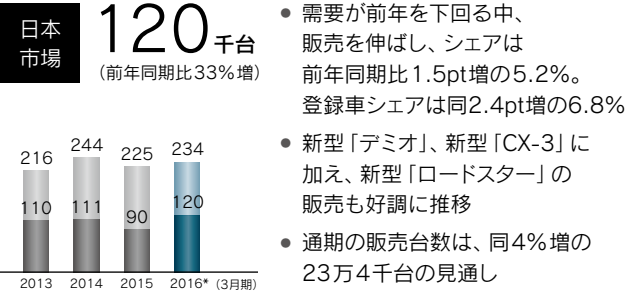
クルマ・技術 2015. 11. 9

新塗装技術「アクアテック塗装」が第6回ものづくり日本大賞「内閣総理大臣賞」を受賞

揮発性有機化合物とCO₂を同時削減する新塗装技術「アクアテック塗装」が、内閣総理大臣賞（「製造・生産プロセス」部門）を受賞しました。

市場別ハイライト

販売台数(千台) 通期 上半期 通期見通し

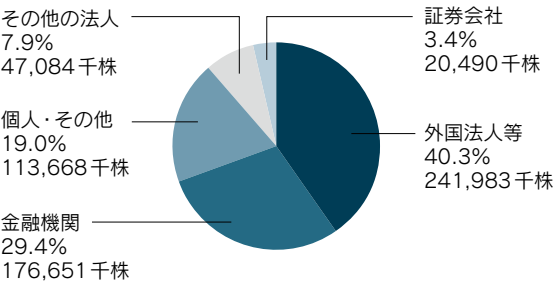


株式の状況

(平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数 1,200,000,000株
発行済株式総数 599,875,479株
株主数 161,314名
(前期末比10,928名増加)

所有者別状況



*「個人・その他」には自己株式が含まれています。

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	36,310	6.1
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	32,436	5.4
株式会社三井住友銀行	12,857	2.2
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	7,978	1.3
三井住友海上火災保険株式会社	7,046	1.2
THE BANK OF NEW YORK, NON - TREATY JASDEC ACCOUNT	6,974	1.2
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	6,619	1.1
CBNY - GOVERNMENT OF NORWAY	6,549	1.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	6,213	1.0
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	6,194	1.0

* 持株比率は、自己株式2,049,559株を控除して計算しています。

会社概要

(平成27年9月30日現在)

商号 マツダ株式会社
設立 大正9年1月30日
資本金 258,957,096,762円
従業員数 連結:45,872名 単独:20,955名
本社 〒730-8670
広島県安芸郡府中町新地3番1号
電話(082)282-1111
ホームページURL <http://www.mazda.com/ja/>

取締役および監査役

代表取締役会長	金井 誠太	監査役(常勤)	梶尾 信義
代表取締役	小飼 雅道	監査役(常勤)	河村 裕章
代表取締役	丸本 明	監査役	赤岡 功
取締役	原田 裕司	監査役	平澤 正英
取締役	中峯 勇二	監査役	堀田 隆夫
取締役	稲本 信秀		
取締役	坂井 一郎		
取締役	城納 一昭		

株主メモ

(平成27年9月30日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
公告方法	電子公告 http://www.mazda.co.jp/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
・郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
・電話お問合せ先	☎ 0120-782-031
・ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	100株
証券コード	7261

IRサイト「株主・投資家情報」をご活用ください。

社長メッセージや決算情報、プレゼンテーション資料など、さまざまな情報を掲載しています。

<http://www.mazda.com/ja/investors/>



本誌は植物油インキを使用しています。